

常陸大宮

2015

3

No.126

美和公民館講座
「つるし飾り作品展」

主な内容

P2～3	美和・緒川中学校閉校事業
P4～5	不動滝の上から ー発掘調査報告ー
P6～13	まちのできごと
P14	健康通信 ～薬の飲み合わせについて～
P17	環境インフォメーション

美和・緒川

… 4月から明峰

美和中学校



1



2

美和中学校沿革

- 昭和44. 4. 1 美和村立美和中学校（統合中）を設置
 47. 2. 15 美和村立美和中学校竣工式
 （校旗披露 校歌発表会）
 53. 11. 26 学校給食文部大臣表彰
 58. 8. 8 卓球女子団体全国大会出場
 平成元. 2. 4 平成元年度学校保健統計調査実施校を文部大臣より指定
 元. 10. 28 全国緑の少年団活動発表大会最優秀賞受賞
 3. 3. 1 淡水魚クラブ、県教育長褒賞
 3. 5. 21 緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞受賞
 8. 12. 3 茨城県知事賞（学校林）受賞
 12. 11. 3 学校給食の研究推進校として文部科学大臣賞受賞
 15. 4. 小瀬高等学校との連携型中高一貫教育校となる
 16. 11. 10 租税教育推進校として茨城県知事表彰
 19. 8. 21 卓球女子個人全国大会出場
 27. 3. 31 美和中学校閉校



3

美和中学校校歌

作詞 酒井 清一
 作曲 下野 米

一 寛に静もる 山脈を
 めぐる緒川の 音さやか
 生きるよろこび 胸に沁み
 燃える理想に 励み合う
 御領平に 幸あふる

二 紅葉映え増す 群山の
 かがやく岡に 学び舎に
 若さみなぎり たくましき
 声はとよもす 鷲の子に
 太陽は明朗の 紅玉散らす

三 木の葉飛び交う 空冴えて
 聖く雄々しき 三浦杉
 仰ぐまなざし 意志かたく
 希望つらぬく 美和の子に
 ゆかし友情の 学園匂う



4



5



6



7

- 1 校章 2 校舎 3 全校生徒
 4 体育祭 5 体育祭 6 和光祭
 7 スキー宿泊学習

中学校閉校

中学校へ…

平成27年3月をもって、美和中学校と緒川中学校が統合し、4月から明峰中学校として新しく開校します。美和中学校は昭和44年、緒川中学校は昭和46年に創立され、これまで多くの優れた人材を輩出するなど、地域に元氣と活力を与えてきました。両校の閉校について紹介します。

緒川中学校



1



2



3

緒川中学校沿革

- 昭和46. 4. 1 緒川村立緒川中学校が設置され、小瀬教場・八里教場が置かれる
48. 4. 1 現在地に移り、実質統合
49. 5. 体育館竣工、校歌制定
51. 7. プール竣工
- 平成13. 2. 3 創立30周年記念式典
15. 4. 小瀬高等学校との連携型中高一貫教育校となる
21. 12. 4 人権作文への取り組みが認められ、法務省人権擁護局長から感謝状が贈られる
23. 3. 11 東日本大震災により校舎屋上部の一部崩落、北昇降口のガラス破損、中央階段の破損
24. 8. 8 バレーボール部関東大会出場
25. 1. 25 茨城県よい歯の学校審査優秀となる
26. 5. 16 体育館耐震補強・大規模改造工事着工
26. 6. 3 校舎耐震補強・大規模改造工事着工
27. 3. 15 校舎・体育館耐震補強・大規模改造工事竣工
27. 3. 31 緒川中学校閉校

緒川中学校校歌

作詞 塚本 勝義
作曲 岡本 敏明

- 一 館野の城址 いまや春
緑あざやか 花かおる
陽光あふれる 学舎に
集う若人 情熱燃やし
真理をめざし ひたすら学ぶ
- 二 緒川の流れ 限りなく
紅葉を映して 影清ら
大空澄みて 雲光り
仰ぐ若人 足なみ揃え
正義を胸に 明るく伸びる
- 三 なつかしの山 小舟富士
あの山この川 ありがたし
祖父の至誠 鑑とし
励む若人 腕を組み
平和を祈り 礎築く
恵み豊かな 学舎よ
われらの緒川中学校



4



5



6



7

- 1 校章
4 体育祭
7 持久走大会

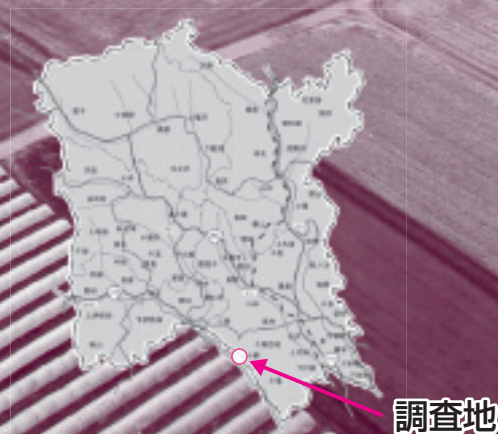
- 2 校舎
5 あいさつ運動

- 3 全校生徒
6 校内音楽祭

不動滝の上から

～三美地区滝ノ上遺跡発掘調査報告～

調査区全景 奥に那珂川を望む



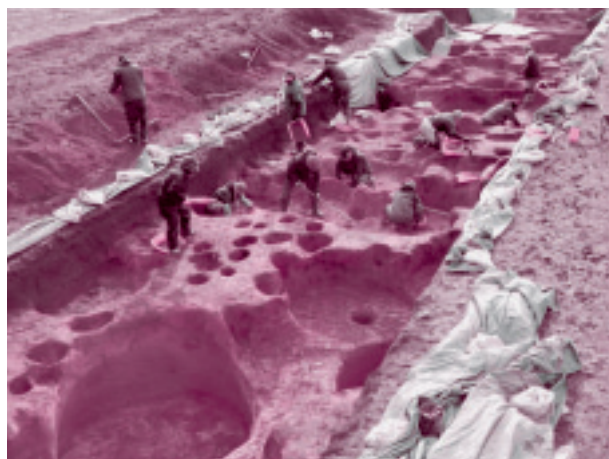
調査地

平成25年11月から平成26年3月にかけて、三美地区で滝ノ上遺跡の発掘調査が行われました。その成果がまとまりましたので報告します。

今回の発掘調査では、縄文時代中期（約5000～4000年前）の環状集落^{かんじょうしゅうらく}の跡が見つかりました。環状集落とは、^{あと}住居を円形に並べ、その内側に食糧の貯蔵穴や墓などを配置したムラで、この時代に特徴的なものです。

見つかった環状集落は直径約200mに及ぶ大規模なもので、数百年にわたり継続して営まれたものと考えられ、小規模な調査ながらも、住居の跡8軒、貯蔵穴等289基が密集して発見されました。

これらの中からは、この時期に特有の飾りの付いた大型の縄文土器が数多く出土しているほか、耳飾りや、石灰の塊のようになった貝殻など珍しい造物も発見されています。



▲作業の様子（大きな穴が貯蔵穴）

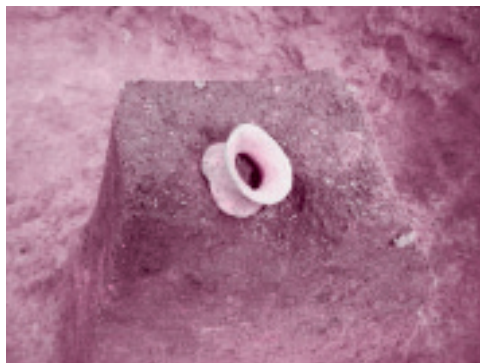
この時代の環状集落は、赤岩遺跡（三美地区・平成24年度調査）や、西塙遺跡（野口地区・平成21年度調査）等でも見つかり、当時の那珂川沿いの居住環境の良さを物語っています。



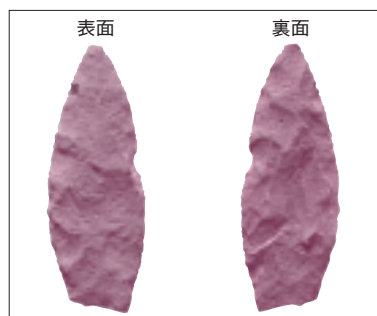
◀出土した土器



▲土器が出てきた～



▲耳飾りの出土の様子



◀縄文時代草創期の石器

このほか、弥生・古墳・平安時代や中世の生活の痕跡も見つかっています。なお今回の調査で最も古い遺物は、縄文時代草創期（約13,000～10,000年前）の石器でした。

今回の発掘調査で出土した縄文土器等は、歴史民俗資料館大宮館に新たに展示しました。ぜひ足を運んでみてください。

また、遺跡名となっている「滝ノ上」とは、大場ふる里音頭にも歌われた「不動滝（別名：そうめん滝）」の上の方を指す地名です。縄文人もきっと、この滝を見て暮らしていたことでしょう。



*特別に許可を得て撮影しています

▲大きいね～ 何に使ったの？

今回の発掘調査では、たくさんの方にご協力いただきました。

これらの成果は、私たちのふるさと常陸大宮市の成り立ちを知るための貴重な資料となります。ふるさとの歴史と文化を知り郷土愛を育むため、今後とも埋蔵文化財行政にご理解とご協力をよろしくお願いします。

■問い合わせ■ 生涯学習課 生涯学習グループ ☎52-1111（内線362）
歴史民俗資料館大宮館 ☎52-1450

第5回国際交流フェスティバル

今年で5回目となる国際交流フェスティバル（主催：市国際交流協会）が、おおみやコミュニティセンターで2月7日に開催されました。



▲やまがた御城太鼓

この日は晴天に恵まれ、やまがた御城太鼓の力強い音色で幕を開けました。会場には、市民や海外出身者など300人以上が足を運び、様々な催し物を観覧し、出演者と一緒に楽しんでいました。

催し物では、西塩子の回り舞台の出演者が、ステージ上で堂々とした口上を披露し、茨大トリオの演奏では、留学生によるバンドで会場を沸かせました。他にもギターの伴奏に合わせて、市の歌を全員で合唱したり、丸めた畳表を一刀両断する抜刀道演武が披露されたりして、会場からはたくさんの拍手と歓声が上がりました。



▲回り舞台の口上（上段左）、抜刀道演武（上段右）
茨大トリオの演奏（下）



▲海外出身者による着物ショー

昼食はスパイスの効いたネパールカレーを味わい、食の国際交流となりました。午後は、常陸大宮高等学校プラスバンド部による演奏があり、昨年空前のヒットとなった「アナと雪の女王～Let It Go～」などを披露し、最後はZ I Lダンススクールの鮮やかなキッズダンスが会場を盛り上げました。

またお茶席の開催や、生け花や押し花作品、漆作品や市協会活動写真の展示も行われ、日本の伝統文化の奥深さを知ると同時に、国際色豊かな人と文化を身近に感じる事ができた一日となりました。



◀常陸大宮高等学校
プラスバンド部の演奏



◀キッズダンス

ひたまる先生ワークショップ

～ふれあい体験公開講座～

ひたまる先生発足後初となる「ひたまる先生ワークショップ～ふれあい体験公開講座～」が、2月22日におおみやコミュニティセンターで開催されました。

弥七太鼓の勇ましい演奏で開会。健康や文化、教養など6分野に登録された60人の先生のうち33人が参加して、それぞれの講座を開講しました。

「ホスピタリティ」や「昔ばなしを聞こう」などの講話、編み物や押し花、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツなどの体験コーナーが設けられました。ま

た、ねぶた祭りでも使われる武者絵や地場産品の西野内和紙、漆芸品などが展示されました。陶芸教室では、実際にろくろを回して体験ができるスペースがあり、微妙なタッチによって形が変わる器の制作を楽しんでいました。

訪れた100人ほどの市民から「素晴らしい先生がいるので、ぜひいろいろ教えていただきたい」、「とても丁寧に教えてくれて分かりやすかった」など次回に期待する声が寄せられました。



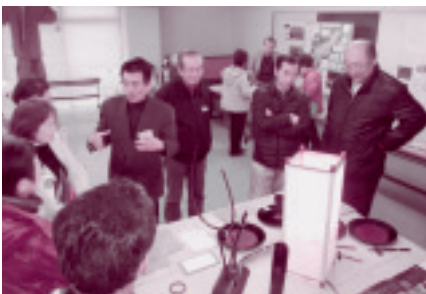
▲太鼓の叩き方を学ぶ参加者



▲ろくろを回して陶芸体験



▲書道の実演も行われました



▲美しい漆芸品に興味津々



▲ニュースポーツにチャレンジ！



▲先生と一緒に編み物体験

※利用される方は、ひたまる先生名簿や市ホームページ等を確認し、ひたまる先生に直接ご相談のうえお申し込みください。



いっしょにまちづくり



2010年4月に、久慈川の川原でほっこりと「やわらの風水辺コンサート」を開催しました。客席となる護岸の石段を地域住民が清掃し、砂利や小石の川原を「♪ありのままの姿♪」のステージに見立て、ゴスペルやギター演奏の中で春を楽しみました。対岸を走る水郡線やさらさらと流れる水の音がバックミュージックとなり、予想以上の反響でした。

今回新たに、「川と川原と緑を音楽とともにゆっくり楽しみ、大勢の人たちと共有する時間・空間を通して郷土の誇りや自信、あわせて環境保全への意識を高める」ことをコンセプトに「川原の音楽会2015」実行委員会を立ち上げ、5月17日の開催に向けて準備中です。

やわらかな風を感じながら、皆さんも市の新たな魅力^{どころ}を探しに出かけてみませんか。



常陸大宮市まちづくりネットワーク
川原の音楽会実行委員長
木村久美子さん

移動市長室



市民の皆さんと、直接まちづくりや市政について気軽に話し合う「移動市長室」を、2月3、4、10日に市内5地域で開設し、63人の参加がありました。

参加した市民からは、道路整備やイノシシの駆除、空き家対策や廃校の活用等について貴重な意見が出ました。

移動市長室は、皆さんの声を市政に生かしていくため、今後も継続していきます。

自治功労者表彰



▲表彰された角田さん（右端）

角田征一さん（緒川）が民間自治功労者として、2月9日に県市長会長より表彰されました。

角田さんは、和太鼓の普及や伝承、地域の活性化を図るため、和太鼓教室を開設し、後継者や指導者の育成に力を入れています。さらに福祉施設での慰問活動や地域の観光イベント、県外の浅草三社祭や大江戸神輿祭にも出演し、市をPRしながら活躍しています。

和太鼓フェスティバル

2月8日、市文化センターで「常陸大宮市和太鼓フェスティバル」が開催されました。

これは、市文化協会の郷土芸能保存部会が主催した初めての試みで、加盟団体や市内の保育園など9団体が出演し、最後は合同演奏で締めくくりました。

出演者は日頃の練習の成果を十分に発揮し、息の合った力強いパチさばきを披露しました。また迫力ある太鼓の響きに、会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。



▲息の合った合同演奏の様子

民生委員児童委員が 変更になりました

地区担当の民生委員児童委員に変更がありましたので、お知らせします。（敬称略）

担当者	担 当 地 区
三次 重雄 ☎57-6075	山方地区 (和田、大久保、和田高山、東和田)
内田 尚子 ☎56-2075	小舟地区（小舟上）
関澤 孝子 ☎55-2414	下伊勢畑地区 (光戸、下の下、紺茶、大栗、細内)

任期：平成27年3月1日～平成28年11月30日



▲新しく委嘱された三人

ミュージックフェスティバル

市内の中学生と高校生が一堂に会し、2月14日にミュージックフェスティバルを開催しました。

演奏会は3部構成で、各学校の発表やアンサンブル、合同演奏などを行い、来場した皆さんに音楽の楽しさや素晴らしさを伝えることができました。

このフェスティバルは、出演者たちが協力し合いながら作り上げる地域に根差した演奏会です。出演者が一体となったこの演奏会に、たくさんの拍手と温かい励ましの言葉が送られました。



教育振興大会

2月19日に400人を超える出席者を迎え、市教育振興大会を盛大に開催しました。

第1部では、教育の振興に寄与された方や様々な分野で功績のあった方に、感謝状や表彰状が贈られました。

第2部のアトラクションでは、上野小5年の富山杏美さんによる作文発表、NPO法人総合体操クラブJewelの児童生徒による新体操の演技や、第二中学校の打楽器アンサンブル演奏が披露されました。



本庁で「休日窓口」を開設しています

平日に市役所へ来庁できない方に利用していただくため、休日に市民課の一部業務の窓口を平成27年1月から開設しています。

なお取り扱い業務が限られますので、事前に十分ご確認のうえご利用ください。

■問い合わせ■ 総務課 庶務法制グループ
☎52-1111（内線317）

○開設日 毎月第4日曜日（年末年始は除く）

○開設時間 9時00分～12時00分
13時00分～17時00分

○業務内容

- ・各種証明書の交付
- ・パスポートの交付（事前申請されたもののみ）
- ・税務に関する証明書の交付
（電磁データで管理される証明の交付のみ）

地域医療を考える



2月22日、市文化センターで「続・地域医療を考える」研修会が、昨年度に引き続き開催されました。これは、地域医療が抱える様々な問題とその解決策を、医療従事者と地域住民が共に考え討議することを目的として開かれたものです。

研修会では、講演や総合討論を行い、誰にでも分かりやすいよう身近な内容が取り上げられ、訪れた人は熱心に耳を傾けていました。

社会福祉大会

2月18日、市社会福祉協議会合併10周年「社会福祉大会」が開催されました。大会では、書道パフォーマンスや講演の後、社会福祉に貢献された方や団体に、表彰状や感謝状の贈呈が行われました。

書家の金澤泰子さんによる講演では、ダウン症で生まれてきた娘翔子さんが、書家として成長する姿について、ユーモアを交えながら語り、来場者は時間を忘れて聞き入っていました。



▲金澤翔子さんによる書道パフォーマンス

県民健康づくり表彰

県民健康づくり表彰式（主催：茨城県）が2月16日に県庁で行われ、常陸大宮市が県総合健診協会から表彰されました。市が特定健診や各種がん検診事業を積極的に推進することで、住民の健康管理や健康増進に貢献したことにに対し贈られたものです。

今後とも、各地域の健康づくり推進員や関係団体の協力を得ながら、市民の健康づくりのために引き続き早期発見・重症化予防に取り組んでいきます。



▲表彰を受けた市健康推進課

美しい水土里づくり表彰

県美しい水土里づくり優良活動表彰で、「富岡」里づくりの会（坂本忠夫代表）が、県農林水産部長賞を受賞しました。

これは、農村地域が有する資源を守り、農地や農業用施設等を良好な状態で保全・管理している団体に対して行われます。

「富岡」里づくりの会では、農業者や区、関係団体が協力して幅広い活動を行っていて、更なる促進が期待されています。



▲受賞された「富岡」里づくりの会の皆さん

給食米が寄贈されました

ひまわり農園（尾崎勇代表）から、児童生徒に美味しいお米を食べてほしいと、市に精米400kgの寄贈がありました。

尾崎さんは、4haの水田で無農薬栽培に挑戦し、不良米を水田に戻す方法や、窒素分をほとんど与えない肥料配分など独自の栽培方法により、4年がかりで食味指標86という米作りに成功しました。

このお米は、3月初旬に各学校の給食に配膳され、子どもたちのもとへ届きました。



▲お米を寄贈したひまわり農園の尾崎代表(右端)

青少年相談員研修会



▲青少年の心理状態について話す鈴木先生

市文化センターで、2月17日に「第2ブロック（常陸太田・太子・常陸大宮）青少年相談員研修会」が行われました。

初めに県青少年心理アドバイザーの鈴木宏子先生による講演会が行われ、現代の青少年の置かれた状況や特徴、相談員の接し方などについて語りました。その後分科会で、相談員相互の活動状況について情報交換を行うなど、有意義な研修会となりました。

標語表彰 ～アユの放流体験～

3月3日、「水辺に親しむ体験学習」標語コンクールの表彰式が行われ、大賀小学校の5、6年生に表彰状が授与されました（主催：茨城県内水面漁業協同組合連合会）。

これは大賀小学校が昨年実施した、久慈川へのアユの放流体験について標語にしたものです。

【入賞者】

常陸大宮市長賞	6年	藤田	莉穂
常陸大宮市教育長賞	5年	鹿嶋	蘭夢
県内水面漁業協同組合連合会長賞	6年	岩間	朱音
久慈川漁業協同組合長賞	5年	石田	桃花
	6年	日下	由菜



▲表彰式の様子



お礼の言葉を述べる▶
藤田莉穂さん

消防本部接遇マナー講習会

2月17日、全消防職員を対象とした市民に対する接遇マナー講習会を、消防本部多目的室で開催しました。

講師には、市内の有限会社スパークル代表取締役の星野幸子さんを迎え、消防職員であると同時に社会人としてのマナーをしっかりと身につけることを目的に、接遇の基礎である挨拶や身だしなみを学びました。また情報を伝えるための言葉とそれ以外の表現要素を再確認し、電話や緊急通報時の対応のポイントについて学びました。

参加した職員からは「実例を交えての説明が大変参考になり、今後の道しるべとなった」、「言語表現と非言語表現を駆使し、相手に伝えていく大切さを知った」、「分かりやすく非常に勉強になった」等、今後の消防人としての綱紀粛正に繋がる素晴らしい講習会となりました。



スポーツ大会結果

第9回常陸大宮市近郊交流卓球大会

開催日：3月1日
主催：市卓球連盟（寺門信義会長）
会場：西部総合公園体育館
参加チーム：102チーム

【男子の部】

優勝 Over Limit
準優勝 東海クラブ
第3位 茂木中学校A
真岡西中学校A

【女子の部】

優勝 Over Limit
準優勝 益子中学校
第3位 真岡西中学校A
球友クラブJr.

市民からのまちのできごと

常陸大宮市近郊ミニバスケットボール大会（女子の部）

開催日：1月10、12日
主催：常陸大宮フェアリーズミニバスケットボールスポーツ少年団（代表指導者 木村裕幸）
会場：西部総合公園体育館
参加チーム：市近郊12チーム



▲3位になった常陸大宮フェアリーズの皆さん

■決勝リーグ

優勝	2位	3位
菅谷東 (那珂市)	長堀 (ひたちなか市)	常陸大宮 フェアリーズ

■予選リーグ

	1位	2位	3位	4位
A	常陸大宮 フェアリーズ	あおいJr (常陸太田市)	常北 (城里町)	那珂湊二 (ひたちなか市)
B	菅谷東 (那珂市)	石神 (東海村)	前渡 (ひたちなか市)	田彦 (ひたちなか市)
C	長堀 (ひたちなか市)	太子エレメンタリー (太子町)	桂 (城里町)	金砂郷 (常陸太田市)

～ニュースポーツ交流大会～ スポーツクラブひたまる 25 情報局（拡大版） VOL.7

2月21日、旧大場小学校体育館で、スポーツクラブひたまる25主催のニュースポーツ交流大会が開催されました。

「楽しみの囲い込みをしない」がモットーのひたまる25らしく、和気あいあいとした雰囲気の中、会員と飛び入り参加の人たちで、ユニカールとスポーツ吹矢、グラウンドゴルフの3種目で勝ち負けを競い合いました。

寒い中での開催でしたが、参加者は適度な運動で汗を流し、健康増進を図ることができました。

ユニカールの様子

ターゲットの中心に最も近くストーンを置いたのはどちらでしょうか？接戦の場合は、メジャーで距離を測ります。



▲手前に2つ見えるのはユニカールのコート



さて、どちらが近いかな？



こっちのほうが近そうだ



▲表彰式
賞品は、ひたまる25会員が栽培したいちごでした

<常時会員募集中>

現在スポーツクラブひたまる25の会員数は、約70人です。旧大場小学校を拠点として、様々な生涯スポーツ教室や市民誰もが参加できるイベントを実施していく予定です。皆さんもぜひ入会し、一緒に楽しいクラブを作り上げましょう。

【問い合わせ】

アシスタントマネージャー・小室 ☎080-5075-3921

スポーツクラブひたまる 25 とは…

平成25年10月に設立された総合型地域スポーツクラブひたまる25。生涯スポーツ社会の実現のため、成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%となること等を目指して、文部科学省が実施するスポーツ推進施策の一つがこのクラブです。幅広い年代の市民が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、自由にスポーツに取り組める環境を提供しています。

現在は、旧大場小学校（小野451）を拠点としていますが、その他の地域でも要望があれば、クラブ活動を展開させることが可能です。興味がある方や、自分の地域にも地域密着型のスポーツクラブを実現させてみたい方は、下記までお気軽にご相談ください。

■問い合わせ■ 生涯学習課 スポーツ推進グループ ☎52-1111（内線343）

薬の飲み合わせについて

薬は病気の治療や予防、症状の緩和を目的に使用します。最近では高齢化が進んでいることもあり、一人で複数の薬を使用している方も珍しくありません。その際に注意しなくてはならないことが飲み合わせ（相互作用）です。

相互作用とは、複数の薬を使用した場合に効果がなくなることや、副作用が起こることをいいます。大まかに分けると次のようなものがあります。

- ・ 効果の同じ成分が重なる → **効果が強くなりすぎる**
- ・ 効果が反対の成分が重なる → **効果が弱くなる**
- ・ 成分が体に吸収されることを邪魔する
→ **吸収される薬が減り、効果が弱まる**
- ・ 成分を分解する、体の外に出す働きを妨げる
→ **効果が強くなりすぎる**



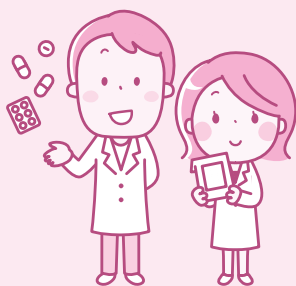
常陸大宮済生会病院

薬剤科
高橋 昌也 先生

また、効果の同じ成分が重なった場合に、作用がかけ算になる「相乗作用」とたし算になる「相加作用」があります。相乗作用の場合、思いがけず大きな作用（副作用も含む）が出る可能性があり、注意が必要です。

病院や薬局では、薬を渡す時に相互作用をきちんとチェックしています。しかしチェックする際に、他の病院や薬局で受け取っている薬の情報がなければ、適切なチェックができません。そのためには「お薬手帳」が非常に有用です（お薬手帳については後日この欄で詳しく説明します）。

病院や薬局では、必ずお薬手帳を出してください。



さて、相互作用は薬同士で起こるとは限りません。薬と食品、薬とサプリメントでも起きる可能性があります。ある健康食品会社が、テレビコマーシャルで対応をアピールしているので、ご存知の方も多いかもかもしれません。有名なものでは、ワーファリン（血液をサラサラにするお薬）と納豆や大量の緑黄色野菜（クロレラなど）との相互作用で、薬が効かなくなってしまうことがあります。

相互作用の組み合わせは多彩で、まだよく分かっていないこともあります。病院や薬局で渡される薬の説明書をよく読み、正しく使用してください。

セリバオウレン



双子葉離弁花 キンポウゲ科 オウレン属

御前山ビオトープ周辺の植物等

山地に生える多年草で、根生葉は複葉です。早春に花茎を出し、直径1 cmほどの白い花を咲かせます。花弁はガクが変化したもので、本当の花弁は内側にある短い花びらです。

名前の由来は、根が黄色く葉がセリの葉に似ていることからきています。

（写真・データ提供 御前山ダム環境センター）

常陸大宮市 文書館だより

～昭和11年の大宮場所～

4月12日開催の大相撲常陸大宮場所が近づいてきました。本市域では、かつて3回の大相撲巡業が行われていたのをご存知でしょうか。



▲板番付

◇甲神社に残る板番付

大相撲で用いられている力士の順位表である番付。現在も本場所のたびに会場正面に掲げられています。板に手書きで力士の名と序列を記し、興行の宣伝と番付の周知のために用意されました。頭部が山形になっているのは、大入りを願って「入」の文字をかたどったものといわれています。確認されている最古の板番付は、天明年間（1780年代・相撲博物館蔵）のものです。当時は本番所が春場所（1月）と夏場所（5月）の年2回だったため、本場所のない時期は、力士をいくつかに分けて各地で巡業が行われました。この後本場所は、昭和24年から3場所、28年から4場所、32年に5場所となり、現在の6場所制になったのは昭和33年からです。

さて下町の甲神社には、昭和11年2月の地方巡業で使用された板番付が残っています。板番付は、高さ165cm、巾140cmの大きさの杉材で作られていて、根岸流の独特の文字で、力士や行司などおよそ100人の名が書かれています。

墨色が薄くなり、すべての文字を解読することはできませんが、東の横綱は「男女ノ川登三」と読めます。茨城県菅間村（つくば市）出身の男女ノ川は、それまで大関でしたが、大宮巡業のあった昭和11年2月に横綱免許となり、出身県での巡業に花を添えることになったのです。

また関脇に能代瀧、小結に旭川、前頭に筑波嶺や羽黒山らがいました。そして西の大関は大潮清次（治）郎、小結には、のちに第35代横綱となり69連勝を成し遂げる双葉山定兵衛（のち定次）が名を連ねます。同じく前頭には大八洲らがいました。さらに西の前頭には、日本の統治下にあった朝鮮出身の大王山吉之助の名もあります。

神前での奉納物として発展してきた相撲は、地方相撲の発端ともなりました。この板番付にも、幕下では大相撲の力士として確認できない名前が入っています。番付外の力士、あるいは地元相撲の力士といった可能性も考えられそうです。

また相撲の興行主を勧進元といい、番付最下段の中央に記されます。この時は南町の川田家の主人、井坂新吉が勧進元となりました。川田家は当時旅館業と映画館「川田座」を南町で営んでいて、大宮宿のにぎわいを支えていました。土俵は川田座の西側の畑に作られたようです。

いずれにしても当代の名力士を集めた巡業には、多くの観客が集まったことでしょう。

◇続く大相撲巡業

大宮での大相撲巡業は、このあと昭和28、9年頃（会場：大宮小学校校庭）と昭和60年10月8日（旧大宮町営グラウンド）の2回開催されました。前者では大宮町商工会（任意商工会）が勧進元となり、衆議院議員山崎猛事務所の協力を得て実現しました。横綱千代の山、吉葉山、大関栃錦らの人気力士が来町しました。土俵を中心として客席の周りをむしろで囲い、会場を作るのは大変な作業だったそうです。また昭和60年興行では、横綱千代の富士、大関北尾（のち横綱双羽黒）らが来町し、500余人の観客が訪れました（「茨城新聞」昭和60年10月12日）。

今年の開催は30年ぶり、4回目ということになります。観覧される方は番付に注目してみたいかがでしょうか。

紙幅の都合により板番付の全文を掲載できませんので、ご希望の方は文書館（☎52-0571）までお問い合わせください。甲神社渡辺滋さん、井坂日出子さん、石井實さん、相撲博物館中村史彦さんにご協力をいただきました。

参考文献：澤田一矢『新装版 大相撲の事典』東京堂出版
2000、金指基・日本相撲協会『相撲大事典』現代書館
2002、「相撲」編集部『大相撲人物大事典』ベースボール・マガジン社2001

文書館 ☎52-0571



消防職員意見発表会

「消防防災」をテーマに、県内25消防本部の代表者が意見を発表する「第38回全国消防職員意見発表茨城県大会」が2月5日に開催されました。大会は小美玉市四季文化館「みの〜れ」で開かれ、25人の発表者が業務や体験を踏まえた意見を発表しました。これは、消防職員が日頃の業務に対する問題等を考察し、これからの消防業務のあるべき姿や職務に於いての提案、取り組みを発表する場として毎年開かれています。

市消防本部の大貫充救急救命士は、「救えない命から学ぶこと」と題して発表し、努力賞を受賞しました。命を救うべく活動する中で、救えない命の存在を知る消防職員は、救急業務で難病や先天性疾患を患ってしまった小児の「小さな命」のために、何ができ何をすべきか、命の大切さについて伝えました。

東日本大震災から4年の月日が過ぎました。あの日の記憶がだんだん薄れてきてはいませんか。また発生するかもしれない大地震に、ご家族や地域での備えを再確認しましょう。

地震から身を守る10力条を再確認!!

1 まずは身の安全を

ケガをしたら火の始末や避難行動が難しくなります。あらかじめ家具の転倒や移動防止対策をしましょう。



2 すばやく火の始末

普段から習慣づけておき、火元付近に燃えやすいものを置かないようにしましょう。



3 戸を開けて出口を確保

マンションなどの中高層住宅では出口の確保が重要です。逃げ口を失うと避難ができなくなります。



4 火が出たらすぐ消火

もし火災が発生しても、天井に燃え移る前なら慌てずに初期消火。消火器を備えておきましょう。



5 外へ逃げるときは慌てずに

慌てず落ちついて行動しましょう。逃げる時は瓦やガラス、看板などの落下に注意しましょう。



6 狭い路地・ブロック塀には近づかない

屋外にいたら公園や空地などに避難しましょう。落下物やブロック塀の倒壊の危険がある場所には近寄らないようにしましょう。



7 山崩れ・がけ崩れに注意

居住地の自然環境をよく知っておくことが、二次災害防止につながります。



8 避難は徒歩で

避難先までは複数の経路が必要。むやみに避難せず、自主防災組織などの指示でまとまって行動しましょう。



9 協力し合って応急救護

多数の負傷者が出れば、病院などでの手当にも限界があります。地域ぐるみでの応急救護の体制づくりが大切です。



10 正しい情報を聞く

事実是一个です。ラジオや市町村、自主防災組織などからの正しい情報をつかみ、的確な行動をとりましょう。



環境インフォメーション

大切な飼い犬を迷子にさせないために

市では毎年多くの迷い犬を保護していますが、鑑札や狂犬病予防注射済票が付いていなかったり、飼い主から連絡がなかったりして、飼い主のもとへ帰れない犬がいます。

家族の一員である大切なペットを守るため、下記のことに注意しご協力ください。

○迷子にさせないために

- ・首輪が緩んでいないか、鎖が古くなっていないか、定期的に確認しましょう。
- ・鑑札や注射済票を付けましょう。付いていれば保護した時に飼い主が分かります。

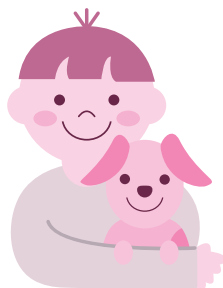
○もし迷子になったら…

- ・すぐに探してください。そのうち戻ってくると考えていませんか？毎日移動して、日を追うごとに離れていってしまいます。また事故にあう可能性も高くなります。
- ・市役所環境課、各総合支所及び茨城県動物指導センターへご連絡ください。保護されていたり、何か情報が届いていたりするかもしれません。

＜飼い主のルールとマナー＞

犬や猫の飼育に関する苦情相談が増えています。飼い主の努力で、ご近所から愛されるペットにしてあげましょう。

- ・放し飼いは絶対にしないでください。犬の放し飼いは、県条例で禁止されています。
 - ・環境美化に努めましょう。犬や猫の排泄物を、公共の場所や他人の敷地に放置していませんか？排泄物の始末は飼い主の義務です。
- また飼育場所の周辺は清潔にして、悪臭やハエの発生を防ぎましょう。



■問い合わせ■

環境課 環境推進グループ ☎52-1111（内線123）

各総合支所 市民福祉課

山方 ☎57-2121 美和 ☎58-2111 緒川 ☎56-2111 御前山 ☎55-2111

VOL.10

職員のつぶやき ～職員リレートーク～

東消防署の平根圭将です。配属になってから6カ月が過ぎました。消防学校で学んだこと以上に現場は命に直結することが多く、先輩方の正確かつ迅速な対応を目の当たりにし、少しでも早く一人前の消防士になるため訓練に励んでいます。

近年では、全国的に自然災害が多く見られます。災害が起きた時の行政や医療、消防の連携が大切だと感じています。そのために、日々新しい知識を得る努力をしていきたいと思います。

先月常陸大宮駅伝大会に出場し、沿道の皆さんの暖かい声援を受け、気持ち良く走ることができました。ありがとうございました。応援して下さった皆さんをはじめ、市民の皆さんの安全と生命を守る仕事に就けたことを誇りに思います。



東消防署 平根圭将

ひたまるがゆく

「みんなでダンスダンスダンス」

インターネットテレビ「いばキラTV」が製作するプロモーションビデオの撮影が2月10日に行われ、あきない組や大宮聖愛保育園の園児たちと一緒に、ひたまるも軽快にステップを踏みました。

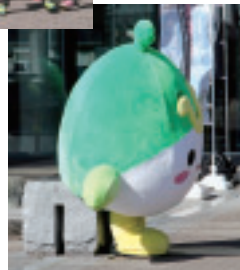
たった数秒の撮影だったけれど、テイク7でやっとOKが…。次の日の筋肉痛を心配するひたまるでした。

このビデオは県内44市町村が出演し、茨城をPRする目的で制作され、2月28日から公開されています。ぜひご覧ください！

「いばキラTV」 <http://www.ibakira.tv/archive/hajimarinohikari/>



▲息の合ったダンスを披露したあきない組と園児たち



ハードなダンスに
ちょっと休憩▶

いばらき 水の天使

市内在住の野上桃子さんが「いばらき水の天使」に選ばれ、1月22日に県庁で委嘱式が行われました。

この「水の天使」は、下水道のイメージアップ協力員として、アクア施設体験ツアーや街頭キャンペーン等の活動に参加する予定です。その活動をとおして、下水道の働きと魅力をPRし、水環境保全の大切さを広めていきます。



▲左が野上桃子さん

魅力発見フォトコンテスト



▲最優秀賞作品「川霧舞う朝」

市の素晴らしい自然や名所、祭りなどを被写体とした「常陸大宮市魅力発見フォトコンテスト」の入選作品が決定し、2月25日に表彰式が行われました。このコンテストは、写真を通じて市の新たな魅力を発見し、PRするために開催されていて、今年で8回目となります。

審査の結果、応募総数120点の中から最優秀賞に輝いたのは、市内在住の坪哲也さんの作品「川霧舞う朝」でした。

常陸大宮市の人口

(3月1日現在・推計常住者)

総人口 42,775人
(男 21,052人 女 21,723人)
世帯数 16,261世帯

広報 常陸大宮 3月 第126号

発行日 平成27年3月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

